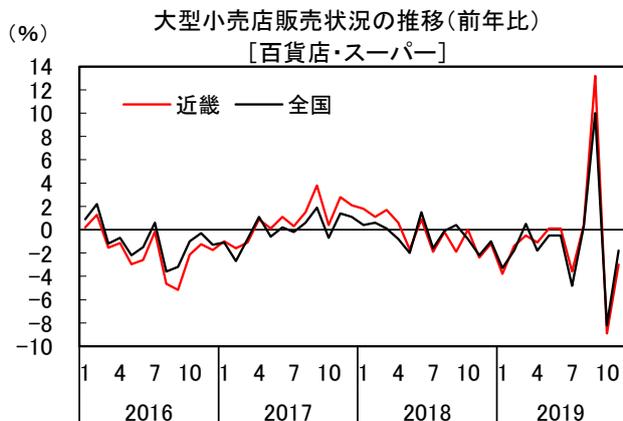
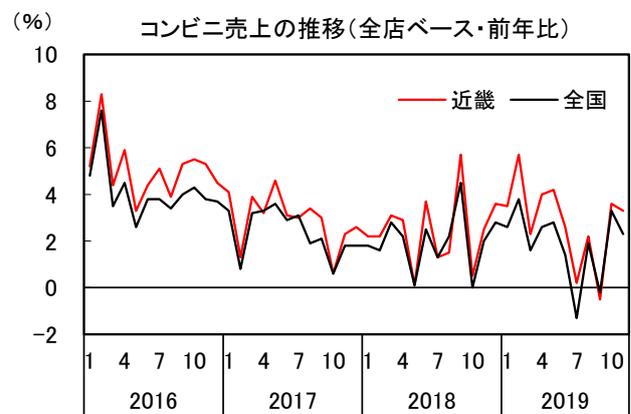


関西の景気トピックス【消費関連（19年11月）】

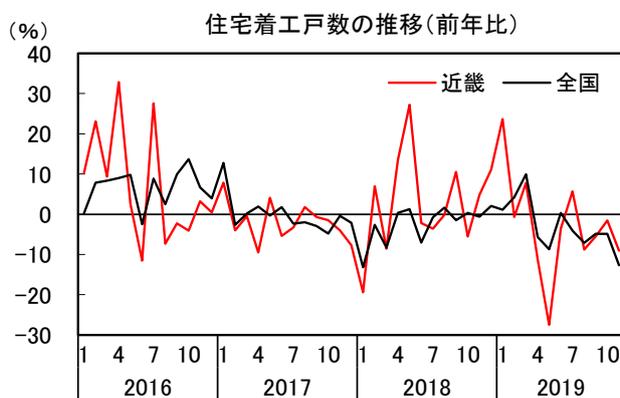
- 19年11月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比マイナス3.0%と2か月連続の減少となっている。消費増税の影響やインバウンド消費の不振などで、百貨店を中心に売上が減少した（業態別には、百貨店が5.5%減、スーパーが1.1%減）。
- コンビニ売上（経済産業省）の11月は、全店ベースで前年比プラス3.3%と、2か月連続で増加した。キャッシュレス決済の特典による追い風を受け、売上の増加傾向が続いている。
- 住宅着工戸数の（国土交通省）11月は、前年比マイナス9.1%と4か月連続の減少となった。持家、貸家、分譲ともに減少となっている。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向については、大阪は直近で前年を下回る動きが続いている。所得環境が良くないことから、消費増税による影響も長引く可能性がある。



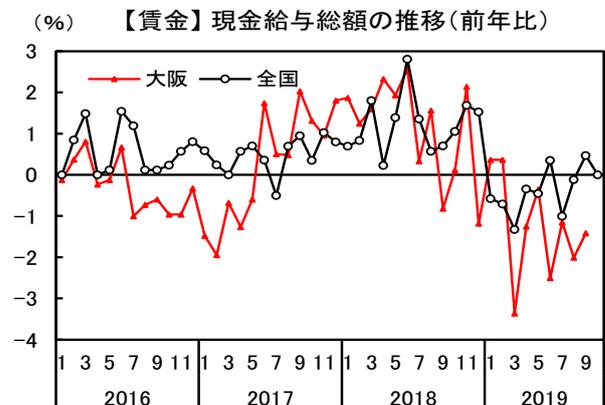
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」